

清

四年

画数 11
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊

「清」の意を表した「シ」と、「すんだ水の色」を表した「青」とを組み合わせて作った字です。



「すんだ水」「きよらか」な水」を表した字です。

今では、水に「かんけいなく」「きよい」「きよらか」という意味に使われています。

「きよめる」という意味にも使われます。

また、「清（すずしい）」の意味にも使われます。

使い方

- ▽空には清らかな星が輝いていました。
- ▽衣服やハンカチは、いつも清潔にしておきたいものです。

熟語例

- ▽清浄（清く汚れないこと。「浄」も、清いという意味です。「清浄な空気を吸って、元気を取りもどした」などというふうに、つかいます。）
- ▽清流（清らかな川の流れ。「清流にアユがおどっている」などというふうに、つかいます。）
- ▽清掃（掃き清めること。そうじをすること。）
- ▽粛清（乱れをなくして清めること。また、政治で、反対派を排除することをいいます。）
- ▽清涼（すがすがしく涼しいこと。「清涼飲料水」といえば、サイダーなどの炭酸ガスを含んだ飲み物のことをいいます。）
- ▽清潔（汚れがなく、きれいなこと。）
- ▽清純（清らかで純粋なこと。「清純な心を傷つけるような行いはつしまなければならぬ」などというふうに、つかいます。）

静

四年

画数 14
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌

「青」の意を表した「シ」と、「すずしい」の意を表した「月」を組み合わせて作った字です。



「争い」という意味の「争（年565）」と、「清（年554）」

「水がすむように争いがすむこと」を表した字です。

世の中の争いがなくなつて、「世の中が「しずまる」という意味の字に使います。

また、「しずか」なことから「動かない」という意味にも使われます。

使い方

- ▽夜がふけるにつれて、あたりはしんと静まりました。突然あたりの静寂を破って、大きな音が響きました。けれど、また、静かになりました。いったい何の音だったのでしょうか。わたしは平静でいられなくなつて、起きあがりました。

熟語例

- ▽静穏（静かで穏やかなこと。「戦争が終わつて、静穏な日々がもどつて来た」などというふうな、つかいます。）
- ▽平静（穏やかで静かなようす。平気で静かなきもち）
- ▽静寂（静かでひっそりとしていること。）
- ▽静物（動かない物。「ぼくは静物画が好きです。花とか果物の絵は、色がきれいで親しみやすいからです」などというふうな、つかいます。）
- ▽静観（静かに動かないで見ていること。「当分の間は、このまま静観していた方が賢明だ」などというふうな、つかいます。）
- ▽安静（安らかに動かないでいること。とくに、病気の時に、体を動かさずに休むこと。「絶対安静にしないと、なおりませんよ」などと、つかいます。）